

# 三心を磨く

学校だより No. 8  
令和6年12月23日(月)発行  
須坂市立東中学校  
文責： (教頭)  
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

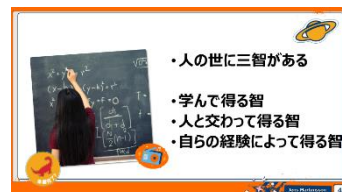
## 2学期終業式 校長講話より

二学期最後になりました。12月23日っていうと、今までの中で一番早い終業式です。今、三名の代表の方に発表してもらいました。よく準備をしてくれて、いい発表をしてくれました。ありがとうございました。

二学期始業式でこんな話をしました。「一学期また種、その花が咲くのが二学期」皆さん、どんな花が咲いたでしょうか？色々な考えを広めて

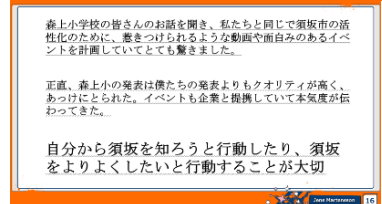
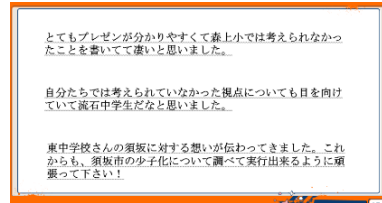
いけたでしょうか。こんな言葉があります。『人の世に三智がある』一つは学んで得る智。二つ目は人と交わって得る智、三つ目は、自らの経験によって得る智。この三つがあるとされています。皆さんは、この三つのなかで、どれが多かったでしょうか。そして、どれが一番少なかったでしょうか。こんなことも、二学期の反省として、三学期に生かしてもらいたいなと思っています。

暑い夏休みのあと、8月は『一生懸命』という生徒会目標でした。9月は『同心協力』東祭に向けて本当に頑張った9月でした。10月『意気軒昂』そして、新しい役員を決めたりいろんな議論をしたりした11月。12月『脚下照顧』良い目標ですね。自分の足元をもう一回見直してみましようという意味です。そして今、12月が終わろうとしています。



この二学期は、故郷っていうことをとても感じた二学期でした。一つ目は、東祭のときプレイエルの伴奏で、全校で歌った『ふるさと』久しぶりに歌った『ふるさと』でありました。二つ目は、東中の三年生と、森上小学校の六年生で、合同授業をして、ふるさと須坂市を考えてくれたことです。これからの街づくりについて、一生懸命考えてくれました。これは、小学生の感想ですけど、やっぱりさすが中学生だなあっていう感想がたくさん書かれていました。逆に中学生も、小学生からたくさん学んだという、そんな感想を見せていただきました。小中一緒に学習をすること、いいことだなと思って。そして、やっぱり自分から、ふるさとを知ろうと行動したり、よくしようと行動したりすることが大事だなということを経験していただきました。

三つ目ですが、実はまだ故郷に戻る事が出来ない人たちがいるってことを知りました。こういう(事情を抱えた)方々と出会ったことが二学期自分の中では印象に残ってます。「在日」って言葉聞いたことあると思うんですね。「在日朝鮮人」とか。「在日韓国人」とか。今、日本にいる方々ですね。いろんな理由があるんですけど、国に帰ることができずにいます。戦争の時に土地を奪われて日本に来た方もいますよね。(地図を指して)これは朝鮮半島です。下のところが大韓民国、上は朝鮮民主主義人民共和国、これらは、一つの国でした。朝鮮半島です。それが戦争を境に、二つの国に分かれてしまっ。元の一つの国だった頃に戻りたいなあっていう方々が、たくさんいるってことを知りました。上が北朝鮮で、下が韓国。その間赤い点・・・がありますけど、38度線と呼ばれていて、ここは、国境ではなくて、軍事境界線と呼ばれています。軍事境界線。





この線を境に、戦争を今中断してますよっていう、そういう所なんですよね。こんな物々しい場所(写真)でもあります。ただ、これがね、韓国と北朝鮮に通じる唯一の道、唯一の道路でもあるんです。それがね、10月に爆破されてしまいました。このことを知った方々が、やっと祖国統一って願っていた夢が破れてしまい、まだまだ自分の土地には帰れないと…。そんな方々がいるってことを、二学期に知りました。やっぱり平和なふるさどがいいなってことを改めて思いましたし、そんな平和な令和7年が来るといいなと思っています。

最後に「よいお年を」を書いて書きましたが、こんな話を聞きました。

今年よい年だったなあと思ってる人は、来年もよい年が来る。よくなかったなと思っていると来年もそうになってしまう。そんな話を聞きました。

ぜひ、今年一年振り返って、ちょっとでも、よいことをたくさん集めて振り返ってまとめをしてほしいと思います。あと、昨日テレビを見ましたら駅伝やってました。長野東高校が二回目の優勝。佐久長聖が二年連続。本当に嬉しいニュースが飛び込んできて、よい年が越せると思いました。皆さんもよい年をお迎えください。



## 2学期を振り返って 代表生徒の発表より

### <1年1組 さん 2学期を振り返って>

この2学期を振り返ってみると、良かったことと、課題に残ったことが2つずつあります。

まず、良かったことの1つ目は、校内テストに向けて勉強を頑張れたことです。1学期の校内テストでは、計画を立てたり、計画に沿ってテスト勉強を進めたりすることがほとんどできませんでしたが、2学期の校内テストでは、計画を立て、テスト勉強をし、しっかりと準備を進めることができたので、自分でも満足いく結果を出すことができました。

2つ目は、より多くの人に気持ちのよい挨拶ができたことです。1学期はあまりいろいろな人に挨拶をすることができませんでした。しかし、2学期は朝教室に入るときに大きな声で挨拶したり、廊下ですれ違う先生方にも進んで挨拶することができました。自分から進んで挨拶すると、とてもスッキリした気分にもなるので、この習慣を3学期も継続し、さらに周囲の人々と気持ちの良い挨拶を交わせるようになりたいです。

一方で、課題に残った点もあります。1つ目は、家庭学習です。テスト勉強は頑張ることができましたが、1学期と比べても、家で勉強する時間が減ってしまい、教科によっては宿題を提出できなかったものもありました。3学期は、この反省を活かし計画的に学習時間を確保し、毎日コツコツとすべての教科でしっかりと復習を進めていきたいと思っています。

2つ目の課題は、授業中の発言が少なかったことです。これは、1学期から抱えていた課題でもあり、なかなか克服できていません。3学期は、積極的に自分の考えを伝えていけるよう、日頃から意識して行動したいと思っています。

2学期にできた様々な経験を活かし、3学期はさらに成長できるよう、目標に向かって努力を続けていきたいと思っています。

### <2年2組 さん 2学期の間に私が学んだこと>

私は先日、長野市の長野ろう学校を訪れる機会がありました。長野ろう学校は、幼稚部・小学部・中学部・高等部と一つの校舎に学年の様々な生徒が毎日通っています。

私は、長野ろう学校の学校祭を見に行きました。校舎の2階にある体育館では、幼稚部から中学部までは「楽器の演奏」や「手話での合唱」を発表していました。高等部は「会津物語」という江戸時代の物語の演劇をしていました。1時間という長い話でしたがその物語を高等部のみなさんはすべて覚えていて、自分の声と、手話を使って役を演じていました。聞いている人や見ている人

がわかりやすいように、ステージの横にはプロジェクターで内容の字幕が映し出されていてみんなが楽しんでもらえるように工夫されていました。私は1時間の物語を、まるで映画を見ているかのように、息をのんで見入ってしまいました。

私はそこで学んだことがあります。ろう学校には耳の不自由な人が多く、多くの人から誤解されやすい部分があるかもしれません。でも、うまく話せなくても今回の高等部の演劇を見て相手に伝えたいという思いがあれば伝えたい人にしっかりと自分の思いが伝わるんだなと思いました。言葉でうまく表現できない時でも、伝えたいという気持ちが相手に届くということ、今回の経験を通して実感しました。

三学期になると2年生も次に生徒会など引継ぎがあり、3年生になれば、自分の意見を全校に伝える場面が多くなってくると思います。ただ意見を言うだけでなく相手にしっかりと伝えるためにはどう伝えるべきかを考えて、よりみんなにわかってもらえるように3学期から意識出来たらいいなと思いました。

### <3年2組 二学期を振り返って、そして三学期へ向けて>

二学期を過ごし、良かった点と心残りな点が二つずつあります。

良かった点の一つ目は、ものやことなどの面で忘れてしまうことが少なくなったことです。一学期のころはたまに提出物などを忘れることがあったり、委員会の仕事を忘れかけたりすることがありました。いろいろな場面で忘れのないようにしようと、2学期は目標を立てて頑張りました。そのお陰で、ほぼ忘れずに委員会の仕事を行うことができたし、提出物を出し忘れることもなくなってきました。三学期は、大体のところやほぼの部分はなくし、よくできたと胸を張って言えるようにしたいです。

良かった点の二つ目は、あいさつです。僕はあまり話したことがない人や通りすがりの人に挨拶することが苦手でした。でも三年生になって生活委員になったので、少しは通りすがりの人に挨拶ができるようになってきました。三学期には自分からもっと挨拶ができるように、頭の片隅に挨拶をされたら返す、できれば自分から挨拶をする、という気持ちを持って生活をしていきたいです。

次に心残りな点です。一つ目は勉強面です。中学三年生で受験生となり、受験にむけて勉強していますが、あの時もっと勉強をしておけば良かったと、後悔することがありました。そんな思いを持たないように、三学期では努力をしていきたいと思います。

そして二つ目の心残りな点は、思い出づくりです。自分は結構面倒くさがりな性格で、学校の行事や大きなイベントがあると、消極的になってしまいます。そこを何とか頑張っってよい思い出を少しでも残せるように、中学校生活最後の学期に行われる行事やイベントに自分の中で出せる全力を学校行事やイベントなどに注ぎ、楽しんでいきたいです。そして中学最後の学期をよい思い出として残せるように少しでも努力して頑張っっていきたいと思います。

僕の好きな芸術家でもあり科学者でもある、レオナルド・ダ・ヴィンチの言葉に、「どんな障害も私を妨げることはできない。あらゆる障害は、ひたすら取り組むことで打破される。」という言葉があります。進路実現に向け、道は険しいですが、この冬休みもひたすら勉強し、目標を達成させたいです。そして、この仲間と過ごす最後の学期を楽しみたいです。

## 生徒会から須坂荘へ「移乗用具」を寄贈しました



\*寝た姿勢のまま、車椅子などに簡単に移乗できる用具。

JRC 交流委員会では、毎月学校の資源回収に合わせて須坂荘さんに段ボール回収に行っていま

す。そして、資源回収の収益の一部を使って、須坂荘さんでお役に立てただけのような物品を寄贈してきました。今年度は、『移乗用具』の希望があり、学校を代表して、新井校長先生と、役員の塩野さん篠塚さん、顧問の小林奈津子先生が寄贈式に出席してきました。須坂荘さんでは、「とても欲しかった物です」と大変喜んでいただけそうです。

今年度の資源回収も残りあと3回となりました。寒くなり、学校まで持ってきていただくことが大変な時期ですが、ご協力いただけるとありがたいです。(アルミ缶は、通年回収しております。)

## 公開授業に県内外より約 100 名

今年度 10 回目の公開授業が行われました。今回は、研究授業として理科「電流と磁界」、自由参観授業として国語科×美術科「絵画を読む」～君は『最後の晚餐』を知っているか～、社会科「消費者生活と市場経済」を公開いたしました。参会者の皆様(約半分は県外からの参会者)からは、生徒たちの主体的な取組の素晴らしさと共に ICT(端末等の情報機器)の学習への取り入れ方や、教科横断的(複数の教科を組み合わせた授業)な授業づくり等、全国的にみても新しい取組をしていることを評価していただきました。※体育科「剣道」は(学級閉鎖のため中止となりました)



## 小学6年生が中学校で体験授業

来年度東中学校に入学する予定の小学6年生が来校し、クリスマスをテーマにした英語の授業を体験しました。クリスマスに関連するワードを覚えて発音したり、スペルを書いたり、グループになって「クリスマスに欲しいもの」を英語で伝えあったりしました。授業のあとは、新井校長先生より中学校と小学校の違いや、中学校を卒業した後の進路の話等、入学に向けての心構えについてお聞きました。姿勢を正し、食い入るように前のめりになって校長先生の話真剣に聞く姿に、緊張感と共に意気込みが伝わってきました。



## 市内の生徒会役員が一堂に会して「中学生サミット」



市内4中学校の新旧生徒会三役が東中学校に集まり、第三回目の中学生サミットが行われました。今回は、この一年間の各校の取組みと、来年度に向けての目標や抱負を発表し合いました。勝山教育長先生からは、大事な仲間と共に悩んだり苦しんだりしながら学校を牽引してきたことへの労いと、これらの活動は自分のためではなく、友達(他者)に向けて取り組んできたからこそ感じられる達成感や充足感であること、成長の足跡をしっかりと残せたこと等を評価していただきました。

## PTA 通信

\*今年度最後の人権教育講座に参加していただいた感想です。

＜人権教育講座に参加して 「障がいのある人たちの地域でのあたり前の暮らしを願って」＞  
障がい者の方の学校を作るのに住民による反対などが多いということに少しびっくりしました。色々な物を作って収入にしたりして頑張っていると思いました。  
ただ、こういう地域での事は、なんとなく少し聞けばわかる事ですが、私は障がい者の方たちとの接し方や付き合い方など、全くわからず、どういう障がいがあるのかもよくわかりません。接し方などが少しわかれば、障がい者と接する機会がある時、すごくいい事だと思います。知らないから近づいたり接したりができないような気がしました。でもそんなに簡単なことではないのかもしれないけれど、障がい者の話をしていただけるのであれば教えて欲しいと思いました。

## 連絡

- \*12月に入り、本校でも感染症が流行しました。休み明けは、いよいよ3年生の受験シーズンとなります。食事・睡眠・休息を大事に生活のリズムを整え、免疫力を高めると共に、感染防止対策についても、各ご家庭で話題にしてください。
- \*1月7日まで、年末年始休業になります。この間の連絡方法については、別紙をご覧ください。皆様が、安全で健やかな年末年始を過ごせますよう、心よりお祈り申し上げます。